

交通安全における定期的な安全指導

	1学期	2学期
3歳児 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な登降園の仕方を知る。 ・保護者と手をつないで登降園する。 ・保護者と手を挙げて横断歩道を渡ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に気を付けながら保護者と一緒に登降園したり、教師や友達と遠足に参加したりする。 ・交通ルールを守って保護者と手をつないで登降園する。 ・遠足での交通安全（歩き方、バスの中の安全な過ごし方など）を知る

安全指導を、小学校までの一貫した計画に基づき行う。

車の来ない場所で遊ぼう。



連休前や長期休業日前には、視覚的教材を提示しながら指導をします。

交通安全における日常的な安全指導

*園外施設を利用する地域交流を特色とした本園では、近隣の公園への徒歩遠足、スポーツセンター内のプールの活用など、体験を通して交通安全について指導する機会を多く設けている。

歩道を歩くときは、建物側を歩きましょう。



傘はまっすぐに持ち、前がよく見えるようにしましょう。

横断歩道を渡る時は、自分の目で安全を確かめてから、手を挙げて渡りましょう。



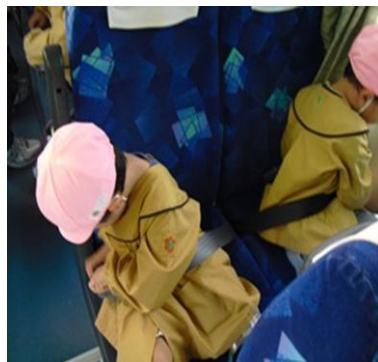
異学年で歩くときには、年長児が車道側を歩くことに気付かせています。



*バス・電車での遠足

事前に約束を話し、車内では幼児一人一人が守っています。

走っているバスの中では、座席から立ち上がらないようにしましょう。



シートベルトを忘れずに締めよう。



駅のホームでは、静かに並んで待ちましょう。



電車内では、手すりにしっかり捕まりましょう。

